

## 山波会視察研修報告

小山和也

日時 令和7年1月20日 (月)

研修先 京都府綾部市

研修内容 交通空白地有償運送事業「山タク」について

主観

京都府綾部市は人口が八女市の約半分位の都市であった。

地形的には八女市程山間地域が多い訳ではないがやはり

田舎地域は存在した。ここでは特定非営利活動法人

山家みらい という NPO 法人を立ち上げておられその設

立までの経緯及び課題などの説明を受けた。主に山家みらい

理事長 波多野隆史氏、片岡英晃氏よりご教授頂いた。

NPO 法人を立ち上げられるまでには市民アンケートなどを

数多く実施されたりしておられかなり苦勞された事もお話

頂いた。現在はバスの運転手不足やその報酬などの面で苦勞

されてるとお聞きした。ここでは主に中山間地域にあたる四

つの地域を法人でカバーしてある事の様である。

八女市に置き換えた場合に最も違う点は綾部市の場合は公共交通が八女市程少くないと言う事と NPO 法人で運営してあると言う事である。ただ共通して言えるのは運転手の報酬及び勤務時間などの問題は同じかなと感じた。

現在八女市にはデマンドバスが運行しているが住民の皆さんにとっては運行地域の制限・公共交通である堀川バスとの時間調整などの要望が多くあがっている。今後綾部市の運営方法・課題点等を参考にしながら八女市も考慮していく必要がある事を実感した。

## 山波会研修報告

小山和也

日時 令和7年1月21日 (火)

研修先 京都市山科区小金塚地区

研修内容 小金地区地域循環バス概要

主観

小金塚地区は山科区北東部に位置する山あいの丘陵地であり急勾配（最大斜度 14%）の地域であった。この地域だけで約 2,200 人の住民が住んであるそうだ。この特色としては自治会が主となって自家用有償旅客運送を行っておられる事である。住民の方から年間運賃を徴収し運営してある。循環バス発着所には公共路線バスが運行しておりそこから地域内をこの循環バスで補うと言う形である。一番驚いたのが協力的な住民意識である。運転手もほぼボランティアで報酬はゼロに等しい。市からの補助もあるが到底運営持続には程遠い。その中で携わる地域の方のボランティア精神ここが普通の地域より優れているのではないかと実感した。そう言う地域であるから自治会の入会率も非常に高いらし

い。この形態を八女市に重ね合わせる事は非常に難しい事であると感じたがやはり住民意識の向上を図っていく事があらゆる問題に対して重要不可欠になっていくであろう事を目の当たりにした研修となった。